

Ver _____ 1.5

オフセット・クレジット(J-VÉR)制度に基づく 温室効果ガス吸収プロジェクト計画書

プロジェクト名	SGHグループ高知・徳島山林長期経営プロジェクト
プロジェクト 代表事業者名	佐川林業株式会社 代表取締役社長 小林康男 印

提出日 2010年 1月 22日

受理日 2010年 月 日

最終版提出日 2010年 10月 27日

A:参加者情報			
プロジェクト代表事業者 ※1			
事業者名(フリガナ)	佐川林業株式会社(サガワリングョウカブシキガイシャ)		
住所	京都府京都市南区上鳥羽角田町 68 番		
代表者氏名	代表取締役社長 小林康男	担当者氏名	田代文彦
担当者所属		担当者役職	取締役
担当者 E-mail	f_tashiro@sagawa-exp.co.jp	担当者電話番号	075-691-6500
プロジェクトでの役割			
プロジェクト事業者 ※2			
事業者名(フリガナ)	志波正歳事務所(土地家屋調査士)(シバマサトシジムシヨ)		
住所	和歌山県田辺市中屋敷町 16 番地の 1		
代表者氏名	志波正歳	担当者氏名	志波正歳
担当者所属		担当者役職	佐川林業(株)顧問
担当者 E-mail	shibajimusyo@comet.ocn.ne.jp	担当者電話番号	0739-22-2428
プロジェクトでの役割	内部監査		
プロジェクト参加者 ※3,			
事業者名(フリガナ)	佐川急便株式会社(サガワキュウビンカブシキガイシャ)		
住所	京都府京都市南区上鳥羽角田町 68 番		
代表者氏名	代表取締役社長 平間正一	担当者氏名	田代文彦
担当者所属	総務部	担当者役職	管財担当
担当者 E-mail	f_tashiro@sagawa-exp.co.jp	担当者電話番号	075-691-6500
プロジェクトでの役割	海南山林の一部の土地所有者		
プロジェクト参加者 ※3,			
事業者名(フリガナ)	岡本巧(オカモトタクミ)		

住所	高知県南国市岡豊町笹の川 225		
代表者氏名	個人	担当者氏名	岡本巧
担当者所属		担当者役職	
担当者 E-mail	無し	担当者電話番号	0888-62-1732
プロジェクトでの役割	モニタリング監督、排出量算出担当者		
プロジェクト参加者 ※3,			
事業者名(フリガナ)	森原重春(モリハラシゲハル)		
住所	徳島県那賀郡上那賀町平谷字南側 3-3		
代表者氏名	個人	担当者氏名	森原重春
担当者所属		担当者役職	
担当者 E-mail	無し	担当者電話番号	0884-67-0512
プロジェクトでの役割	海南山林のモニタリング参加		
プロジェクト参加者 ※3,			
事業者名(フリガナ)	溝渕林業株式会社(ミゾブチリングヨウカブシキガイシャ)		
住所	高知県南国市明見 796-1		
代表者氏名	代表取締役社長 窪田真一	担当者氏名	秦直輔
担当者所属		担当者役職	主任
担当者 E-mail	mizobuchi-ringyou1976 @deluxe.ocn.ne.jp	担当者電話番号	088-863-7622
プロジェクトでの役割	土佐山田モニタリング参加		
プロジェクト参加者 ※3,			
事業者名(フリガナ)	香美森林組合(カミシンリンクミアイ)		
住所	高知県香美市美良布 1100		
代表者氏名	代表理事 野島常稔	担当者氏名	岡本巧
担当者所属		担当者役職	
担当者 E-mail	無し	担当者電話番号	0884-66-0016

プロジェクトでの役割	土佐山田山林施業担当		
プロジェクト参加者 ※3,			
事業者名(フリガナ)	木頭林組合(キトウシンリンクミアイ)		
住所	徳島県那賀郡那賀町大戸春森 36		
代表者氏名	代表理事 榊野千秋	担当者氏名	和田豊一
担当者所属		担当者役職	
担当者 E-mail	無し	担当者電話番号	08866-0016
プロジェクトでの役割	那賀山林施業担当		
プロジェクト参加者 ※3,			
事業者名(フリガナ)	海部森林組合(カイフシンリンクミアイ)		
住所	徳島県海部郡海陽町吉野字小松 9 番地 5		
代表者氏名	代表理事 長谷宏明	担当者氏名	富田智久
担当者所属		担当者役職	参事
担当者 E-mail	無し	担当者電話番号	08847-3-3271
プロジェクトでの役割	海南山林施業担当		
オフセット・クレジット(J-VER)取得予定者 ※5			
事業者名(フリガナ)	佐川林業株式会社(サガワリングイヨウカブシキガイシャ)		
オフセット・クレジット(J-VER)口座番号 ※6			
ダブルカウントの防止措置を講ずる事業者	佐川林業で実施します。		
公的な報告・公表制度	佐川急便は「エネルギーの使用の合理化に関する法律」の特定事業者に指定され且つ、「温暖化対策の推進に関する法律」の特定排出事業者に指定されています。		

自主的な報告・公表対象	「SG ホールディング CSR レポート」でダブルカウント防止措置の内容を記載します。
-------------	---

- ※1: プロジェクト代表事業者のパンフレット等、事業内容の説明資料を別途添付すること。プロジェクト代表事業者以外の主なプロジェクト事業者・プロジェクト参加者についてもパンフレット等を添付すること。
- ※2: プロジェクト事業者とは、当該プロジェクトの実施に携わる者のうち、実際に温室効果ガス吸収活動を実施する者を指す。プロジェクト代表事業者と同一の場合は、その旨を記載すること。
- ※3: プロジェクト参加者とは、プロジェクト代表事業者・プロジェクト事業者以外に当該プロジェクトの実施に携わるすべての者を指す。
- ※4: プロジェクト参加者が複数いる場合には、それぞれの参加者の役割及び関係の概要を説明した資料を添付すること。
- ※5: オフセット・クレジット(J-VER)取得予定者は、プロジェクト代表事業者、プロジェクト事業者、プロジェクト参加者のうちのいずれかであること。
- ※6: オフセット・クレジット(J-VER)口座番号は、口座未取得の場合は記入不要。
- ※7: オフセット・クレジット(J-VER)の発行がなされる場合、ダブルカウントを避けるための所要の措置をとる義務が生じる。詳細は、オフセット・クレジット(J-VER)制度利用約款を参照すること。

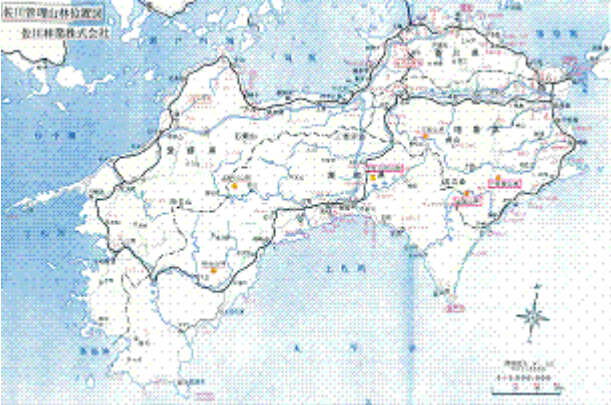
B:プロジェクト活動の概要①																																									
	項目																																								
B.1 プロジェクト活動	B.1.1 プロジェクトの目的及び内容 【目的】 CO2を大量に排出する陸運事業会社がグループ中核を占めるSGHグループの一員として、CO2削減を積極的に行う責任があり、持続可能な森林経営を行うことにより、グループ保有山林によるCO2吸収量の増加を図ることを目的としております。 【内容】 長期間にわたり施業放棄されていた山林に対して、林齢や周囲の山林の状況を考慮し、適切な施業を行うことにより、健全で持続可能な山林へと育成いたします。																																								
	B.1.2 プロジェクト実施前の状況 多くの山林が、長期間の施業放棄により、不健全な山林となっております。 <div style="text-align: right;">(1995年現在)</div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>林(齢)</th> <th>ヒノキ面積 (ha)</th> <th>割合(%)</th> <th>スギ面積 (ha)</th> <th>割合(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1～20</td> <td>93.0</td> <td>50.28</td> <td>112.0</td> <td>33.04</td> </tr> <tr> <td>21～40</td> <td>80.0</td> <td>43.24</td> <td>203.0</td> <td>59.88</td> </tr> <tr> <td>41～60</td> <td>6.0</td> <td>3.24</td> <td>10.0</td> <td>2.95</td> </tr> <tr> <td>61～80</td> <td>6.0</td> <td>3.24</td> <td>14.0</td> <td>4.13</td> </tr> <tr> <td>81～100</td> <td>0</td> <td>0.00</td> <td>0</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>101～120</td> <td>0</td> <td>0.00</td> <td>0</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>185.0</td> <td>100.00</td> <td>339.0</td> <td>100.00</td> </tr> </tbody> </table>	林(齢)	ヒノキ面積 (ha)	割合(%)	スギ面積 (ha)	割合(%)	1～20	93.0	50.28	112.0	33.04	21～40	80.0	43.24	203.0	59.88	41～60	6.0	3.24	10.0	2.95	61～80	6.0	3.24	14.0	4.13	81～100	0	0.00	0	0.00	101～120	0	0.00	0	0.00	合計	185.0	100.00	339.0	100.00
	林(齢)	ヒノキ面積 (ha)	割合(%)	スギ面積 (ha)	割合(%)																																				
1～20	93.0	50.28	112.0	33.04																																					
21～40	80.0	43.24	203.0	59.88																																					
41～60	6.0	3.24	10.0	2.95																																					
61～80	6.0	3.24	14.0	4.13																																					
81～100	0	0.00	0	0.00																																					
101～120	0	0.00	0	0.00																																					
合計	185.0	100.00	339.0	100.00																																					

	<p>全山林面積に対する天然林の割合</p> <p>①海南山林 50.64/311.64 (16.2%)</p> <p>②上那賀山林 3.28/58.96 (5.5%)</p> <p>③土佐山田山林 39.63/177.22 (22.4%)</p> <hr/> <p>B.1.3 排出削減・吸収の達成手段</p> <p>当社は、グループ保有山林による CO2 吸収量の増加を図るため、次の方針に則って、持続可能な森林経営を行って参ります。</p> <p>1.当社の育林方針</p> <p>当社は、森林の公益的機能を高める長伐期施業を目指しているため、当グループが保有する山林の約 5 割は、標準伐期齢(約 40 年)に達しておりますが、前期まで主伐は行っておりませんが、当期より実施して参ります。</p> <p>2.林齢ごとの間伐方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弱齢林 <p>市町村森林整備計画に基づき、間伐率・方針で間伐・下刈等の適切な施業を行っております。</p> ・中高齢林 <p>周囲の環境に適合した作業道の整備を行うことにより、保有山林を計画的な利用間伐等が実施可能となる長期的で継続的な CO2 の吸収を可能とする山林へ育成して参ります。</p> <p>3.山林ごとの具体的な間伐方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐山田山林 <p>間伐率 20%の定性間伐を実施しています。</p> ・上那賀山林、 <p>平成 17 年度以前は定性間伐を実施していましたが、平成 20 年度以降は間伐率 30%の列状間伐を実施しています。</p> ・海南山林 <p>平成 20 年度より定性(30%)の間伐を実施しています。一部ですが、地域森林計画の伐期齢に達した林分は主伐を計画するとともに、出荷可能な林分に関しては列状間伐を実施しております。</p> <p>プロジェクト対象山林 樹種別林齢別分布表 (2008 年現在)</p> <table border="1" data-bbox="371 1951 1182 1998"> <thead> <tr> <th>林齢(齡)</th> <th>ヒノキ面積</th> <th>割合(%)</th> <th>スギ面積</th> <th>割合(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>	林齢(齡)	ヒノキ面積	割合(%)	スギ面積	割合(%)					
林齢(齡)	ヒノキ面積	割合(%)	スギ面積	割合(%)							

		(ha)		(ha)	
	1～20	2.28	1.52	2.28	0.77
	21～40	71.22	47.39	138.33	46.64
	41～60	70.96	47.22	135.96	45.84
	61～80	3.15	2.10	13.61	4.59
	81～100	0.5	0.33	.36	0.46
	101～120	2.17	1.44	5.05	1.70
	合計	150.28	100.00	296.59	100.00
B.2 採用技術	プロジェクトで使用する設備・機器等 (プロジェクトで使用する機器名称、機器メーカー名、型番、機器容量、法定耐用年数、導入年月、用途等について記載すること。(モニタリングに用いた機器は、最新のものに限らず全て記載すること))				
	機器名	メーカー名	耐用年数	導入時期	備考
	コンパス	牛方		10年前	面積測量機
	樹高測定器	パーテックス		4年前	樹高測定器
	輪尺		不明	約10年前	胸高直径測定器
	はさみ尺		不明	約20年前	胸高直径測定器
B.3	実施事業所名	土佐山田山林、海南山林、上那賀山林			

<p>プロジェクト 実施場所</p>	<p>住所</p>	<p>(プロジェクト実施場所が複数ある場合は、全ての住所を表形式等で記述する。) 1.土佐山田山林</p> <table border="1"> <tr><td>高知県土佐山田町西又字小迫 1027-1 外</td></tr> <tr><td>高知県土佐山田町西又字西澤 1026-1 外</td></tr> <tr><td>高知県土佐山田町西又字ミヨカノ畝 1040-7 外</td></tr> <tr><td>高知県土佐山田町西又字ミヨカノ畝 1040-1</td></tr> <tr><td>高知県土佐山田町西又字仲尾 1059-7 外</td></tr> <tr><td>高知県土佐山田町西又字シモエツウ 655 外</td></tr> <tr><td>高知県土佐山田町西又字エツウ 691 外</td></tr> <tr><td>高知県土佐山田町西又字小迫 1027-1</td></tr> <tr><td>高知県土佐山田町西又字大サコ 643 外</td></tr> <tr><td>高知県土佐山田町西又字小迫 1027-1 外</td></tr> <tr><td>高知県土佐山田町西又字大サコ 651 外</td></tr> <tr><td>高知県土佐山田町西又字ミヨカノ畝 1040-7</td></tr> <tr><td>高知県土佐山田町西又字仲尾 1057-7</td></tr> <tr><td>高知県土佐山田町西又字仲尾 1059-7</td></tr> <tr><td>高知県土佐山田町西又字ミヨカノ畝 1020 外</td></tr> <tr><td>高知県土佐山田町西又字ミヨカノ畝 1040-4</td></tr> <tr><td>高知県土佐山田町西又字南キチャ 807</td></tr> <tr><td>高知県土佐山田町西又字ヒラノヤシキ 772</td></tr> <tr><td>高知県土佐山田町西又字西久保ウ子 816-1</td></tr> <tr><td>高知県土佐山田町西又字西久保ウ子 816-1 外</td></tr> <tr><td>高知県土佐山田町西又字ヒラノヤシキ 762</td></tr> <tr><td>高知県土佐山田町西又字ヒラノヤシキ 760 外</td></tr> <tr><td>高知県土佐山田町西又字西久保 806</td></tr> <tr><td>高知県土佐山田町西又字南キチャ 807 外</td></tr> <tr><td>高知県土佐山田町西又字信ヶ溪 1050-2</td></tr> <tr><td>高知県土佐山田町西又字信ヶ溪 1050-2 外</td></tr> <tr><td>高知県土佐山田町西又字ゴケスガタニ 741 外</td></tr> <tr><td>高知県土佐山田町西又字赤岩カゲ 1077-2</td></tr> <tr><td>高知県土佐山田町西又字ゴケスガタニ 746</td></tr> <tr><td>高知県土佐山田町西又字赤岩カゲ 1077-20</td></tr> <tr><td>高知県土佐山田町西又字赤岩カゲ 1077-2 外</td></tr> <tr><td>高知県土佐山田町西又字南大森 984-13 外</td></tr> <tr><td>高知県土佐山田町西又字松村 1074-1</td></tr> </table>	高知県土佐山田町西又字小迫 1027-1 外	高知県土佐山田町西又字西澤 1026-1 外	高知県土佐山田町西又字ミヨカノ畝 1040-7 外	高知県土佐山田町西又字ミヨカノ畝 1040-1	高知県土佐山田町西又字仲尾 1059-7 外	高知県土佐山田町西又字シモエツウ 655 外	高知県土佐山田町西又字エツウ 691 外	高知県土佐山田町西又字小迫 1027-1	高知県土佐山田町西又字大サコ 643 外	高知県土佐山田町西又字小迫 1027-1 外	高知県土佐山田町西又字大サコ 651 外	高知県土佐山田町西又字ミヨカノ畝 1040-7	高知県土佐山田町西又字仲尾 1057-7	高知県土佐山田町西又字仲尾 1059-7	高知県土佐山田町西又字ミヨカノ畝 1020 外	高知県土佐山田町西又字ミヨカノ畝 1040-4	高知県土佐山田町西又字南キチャ 807	高知県土佐山田町西又字ヒラノヤシキ 772	高知県土佐山田町西又字西久保ウ子 816-1	高知県土佐山田町西又字西久保ウ子 816-1 外	高知県土佐山田町西又字ヒラノヤシキ 762	高知県土佐山田町西又字ヒラノヤシキ 760 外	高知県土佐山田町西又字西久保 806	高知県土佐山田町西又字南キチャ 807 外	高知県土佐山田町西又字信ヶ溪 1050-2	高知県土佐山田町西又字信ヶ溪 1050-2 外	高知県土佐山田町西又字ゴケスガタニ 741 外	高知県土佐山田町西又字赤岩カゲ 1077-2	高知県土佐山田町西又字ゴケスガタニ 746	高知県土佐山田町西又字赤岩カゲ 1077-20	高知県土佐山田町西又字赤岩カゲ 1077-2 外	高知県土佐山田町西又字南大森 984-13 外	高知県土佐山田町西又字松村 1074-1
高知県土佐山田町西又字小迫 1027-1 外																																			
高知県土佐山田町西又字西澤 1026-1 外																																			
高知県土佐山田町西又字ミヨカノ畝 1040-7 外																																			
高知県土佐山田町西又字ミヨカノ畝 1040-1																																			
高知県土佐山田町西又字仲尾 1059-7 外																																			
高知県土佐山田町西又字シモエツウ 655 外																																			
高知県土佐山田町西又字エツウ 691 外																																			
高知県土佐山田町西又字小迫 1027-1																																			
高知県土佐山田町西又字大サコ 643 外																																			
高知県土佐山田町西又字小迫 1027-1 外																																			
高知県土佐山田町西又字大サコ 651 外																																			
高知県土佐山田町西又字ミヨカノ畝 1040-7																																			
高知県土佐山田町西又字仲尾 1057-7																																			
高知県土佐山田町西又字仲尾 1059-7																																			
高知県土佐山田町西又字ミヨカノ畝 1020 外																																			
高知県土佐山田町西又字ミヨカノ畝 1040-4																																			
高知県土佐山田町西又字南キチャ 807																																			
高知県土佐山田町西又字ヒラノヤシキ 772																																			
高知県土佐山田町西又字西久保ウ子 816-1																																			
高知県土佐山田町西又字西久保ウ子 816-1 外																																			
高知県土佐山田町西又字ヒラノヤシキ 762																																			
高知県土佐山田町西又字ヒラノヤシキ 760 外																																			
高知県土佐山田町西又字西久保 806																																			
高知県土佐山田町西又字南キチャ 807 外																																			
高知県土佐山田町西又字信ヶ溪 1050-2																																			
高知県土佐山田町西又字信ヶ溪 1050-2 外																																			
高知県土佐山田町西又字ゴケスガタニ 741 外																																			
高知県土佐山田町西又字赤岩カゲ 1077-2																																			
高知県土佐山田町西又字ゴケスガタニ 746																																			
高知県土佐山田町西又字赤岩カゲ 1077-20																																			
高知県土佐山田町西又字赤岩カゲ 1077-2 外																																			
高知県土佐山田町西又字南大森 984-13 外																																			
高知県土佐山田町西又字松村 1074-1																																			

		<table border="1"> <tr> <td data-bbox="644 232 1225 282">高知県土佐山田町西又字西八丁 894</td> </tr> <tr> <td data-bbox="644 282 1225 331">高知県土佐山田町西又字松村 1074-1 外</td> </tr> <tr> <td data-bbox="644 331 1225 380">高知県土佐山田町西又字松村 1074-2 外</td> </tr> </table> <p data-bbox="619 434 753 461">2.海南山林</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="619 470 1257 519">佐川林業(株) 保有林</td> </tr> <tr> <td data-bbox="619 519 1257 568">徳島県海部郡海陽町平井川又 139 番</td> </tr> <tr> <td data-bbox="619 568 1257 618">徳島県海部郡海陽町平井川又 140 番</td> </tr> <tr> <td data-bbox="619 618 1257 667">徳島県海部郡海陽町平井川又92 番</td> </tr> <tr> <td data-bbox="619 667 1257 716">徳島県海部郡海陽町平井川又 193 番</td> </tr> <tr> <td data-bbox="619 716 1257 766">徳島県海部郡海陽町平井川又 194 番</td> </tr> <tr> <td data-bbox="619 766 1257 815">徳島県海部郡海陽町平井川又 195 番</td> </tr> <tr> <td data-bbox="619 815 1257 864">徳島県海部郡海陽町平井川又 196 番</td> </tr> <tr> <td data-bbox="619 864 1257 913">佐川急便(株) 保有林</td> </tr> <tr> <td data-bbox="619 913 1257 963">徳島県海部郡海陽町平井川又</td> </tr> </table> <p data-bbox="619 999 782 1025">3.上那賀山林</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="619 1034 1257 1084">徳島県那賀郡那賀町丈ヶ谷字銚子ヶ谷</td> </tr> <tr> <td data-bbox="619 1084 1257 1133">徳島県那賀郡那賀町丈ヶ谷字六丁目浦 1 番</td> </tr> </table>	高知県土佐山田町西又字西八丁 894	高知県土佐山田町西又字松村 1074-1 外	高知県土佐山田町西又字松村 1074-2 外	佐川林業(株) 保有林	徳島県海部郡海陽町平井川又 139 番	徳島県海部郡海陽町平井川又 140 番	徳島県海部郡海陽町平井川又92 番	徳島県海部郡海陽町平井川又 193 番	徳島県海部郡海陽町平井川又 194 番	徳島県海部郡海陽町平井川又 195 番	徳島県海部郡海陽町平井川又 196 番	佐川急便(株) 保有林	徳島県海部郡海陽町平井川又	徳島県那賀郡那賀町丈ヶ谷字銚子ヶ谷	徳島県那賀郡那賀町丈ヶ谷字六丁目浦 1 番
高知県土佐山田町西又字西八丁 894																	
高知県土佐山田町西又字松村 1074-1 外																	
高知県土佐山田町西又字松村 1074-2 外																	
佐川林業(株) 保有林																	
徳島県海部郡海陽町平井川又 139 番																	
徳島県海部郡海陽町平井川又 140 番																	
徳島県海部郡海陽町平井川又92 番																	
徳島県海部郡海陽町平井川又 193 番																	
徳島県海部郡海陽町平井川又 194 番																	
徳島県海部郡海陽町平井川又 195 番																	
徳島県海部郡海陽町平井川又 196 番																	
佐川急便(株) 保有林																	
徳島県海部郡海陽町平井川又																	
徳島県那賀郡那賀町丈ヶ谷字銚子ヶ谷																	
徳島県那賀郡那賀町丈ヶ谷字六丁目浦 1 番																	

	概要	
--	----	--

B:プロジェクト活動の概要②							
B.4 プロジェクト期間	1995年 4月 1日 ~ 2013年 3月 31日(17年 ヶ月)						
B.5 クレジット期間 ※1	2008年 4月 1日 ~ 2013年 3月 31日						
B.6 想定排出削減 ・吸収量 ※2	年度	2008	2009	2010	2011	2012	合計
	t-CO2	2,629	2,598	1,766	1,644	2,216	10,854
B.7 モニタリング報 告の頻度	年 1 回						
B.8 補助金	受給の有無 (いずれかに○)	受給している / 申請中 / 検討中 / 受給しない					
	補助事業名称	平成 17 年度流域公益保全林整備事業他 5 件					
	補助金額 (申請額含む)	62,616,276 円					
	補助対象年月日	1997年 4月 1日 ~ 2006年 3月 31日					
	補助金を受給している ことを証明する書類	(施業履歴及び林齢樹種ごとの実測面積の証跡として使用する補助金受給事業については、資料を必ず添付すること) 森林組合との契約書、見積書及び契約書が有ります。					
B.9 他制度への申 請 ※3	申請の有無 (いずれかに○)	有 / 無					
	制度名 (有の場合のみ)						
備考	①プロジェクトの吸収量やプロジェクトの実施に影響を与えうる現在もしくは将来的なリスク要因を特定する ②各リスク要因に対する影響の軽減措置を記述する (リスクの例については、「記入要領」を必ず参照のこと) 補助金を受給した施業個所は森林保険に加入し、山林全体で火災保険に加入しています。現時点まで獣害、病虫害の被害は幸いな事に発生して下りませんが、周囲の状況を今後も速やかに把握して早急に対応し、万一の場合も被害を最小限にするように努めて参ります。						

※1:クレジット期間は、2008年 4月 1日~2013年 3月 31日の間で設定すること。

※2:想定排出削減・吸収量の算定根拠をモニタリングプランで提示すること。

※3:海外の VÉR 制度や都道府県等のCO2吸収量認証等、類似制度への申請の有無を記入。これは、一つのプロジェクトによる排出削減・吸収量に基づくクレジットが複数創出される等の、ダブルカウントを避けるためである。

C:方法論の適用		
C.1 ポジティブリストの適格性基準との整合性	C.1.1 ポジティブリストの番号	No. R. <u>002 ver. 3.1</u>
	条 件	説 明 ※1
	C.1.2 条件1	<p>当該プロジェクトは以下の森林施業計画の森林である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐山田山林:香美林産 21-9 ・海南山林:第 22388101 号 ・上那賀山林:第 22368325 号
	C.1.3 条件2	<ul style="list-style-type: none"> ・当該プロジェクト対象山林については、平成 7 年度「1995 年」より、継続的に、市町村の森林整備計画に沿った施業を行い、弱齢の人工林ほぼ全林分に対して間伐施業を行ってまいりました。 ・昨年度も、保安林保全事業として、51ha の本数調整伐を行っております。 ・本年度より海南山林に対して主伐を実施し、来年度より土佐山田山林及び那賀山林に対しても主伐を実施する予定です。
C.1.4 条件3	<p>施業計画の認定番号 _____ (プロジェクト期間に係るすべての施業計画について認定番号を記載)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐山田山林 香美林産 21-9、香美林産 21-9(変 1-22)、香美林産 19-6、土山林産 14-13 ・海南山林 第 22388101 号、第 19388111 号、第 14384021 号、第 14384021 号(変 1-15) ・上那賀山林 第 22368325 号、第 22368325 号(変 1-22)、第 19368314 号、第 14365008 号、第 14365008 号(変 1-18) 	
C.2 適用方法論	方法論番号	JRAM <u>002ver. 3.1.</u>
	方法論名称	森林経営活動によるCO2 吸収量の増大 (持続可能な森林経営促進型プロジェクト)

C.3 適用するガイドライン等	C.3.1 ガイドライン等への準拠	(オフセット・クレジット(J-VÉR)制度モニタリング方法ガイドラインに準拠しない場合の説明)						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>準拠の説明</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/> 全く準拠しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 一部準拠しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 全て準拠する</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 全て準拠する場合は、説明は不要。</p>	準拠の説明	説明	<input type="checkbox"/> 全く準拠しない		<input type="checkbox"/> 一部準拠しない	
準拠の説明	説明							
<input type="checkbox"/> 全く準拠しない								
<input type="checkbox"/> 一部準拠しない								
<input checked="" type="checkbox"/> 全て準拠する								

	<p>C.3.2 ガイドライン等が複数ある場合の選択</p>	<p>(オフセット・クレジット(J-VER)制度モニタリング方法ガイドラインのモニタリングパターンを選択する場合)</p> <table border="1" data-bbox="549 371 1401 1160"> <thead> <tr> <th data-bbox="549 371 703 465">モニタリングパラメータ</th> <th data-bbox="703 371 948 465">モニタリングパターン</th> <th data-bbox="948 371 1401 465">選択の理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="549 465 703 568">活動量</td> <td data-bbox="703 465 948 568"> <input type="checkbox"/> 森林 GIS <input checked="" type="checkbox"/> 実測 </td> <td data-bbox="948 465 1401 568"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="549 568 703 725">拡大係数</td> <td data-bbox="703 568 948 725"> <input type="checkbox"/> 実測 <input checked="" type="checkbox"/> 公表資料、学術論文等 </td> <td data-bbox="948 568 1401 725"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="549 725 703 1160" rowspan="2">収穫予想表</td> <td data-bbox="703 725 948 819"> <input type="checkbox"/> システム収穫表 (LYCS 等) </td> <td data-bbox="948 725 1401 1160" rowspan="2"> 文献名: 該当ページ: ~ ページ 徳島県 主要樹種林分簡易収穫表 高知県 高知県庁森林部林業課より 2009 年 10 月 20 日受領しました </td> </tr> <tr> <td data-bbox="703 819 948 1160"> <input checked="" type="checkbox"/> 文献・資料(行政機関の資料・学術論文等) </td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 選択理由の説明においては、証拠書類等の該当箇所が明確になるよう、対応ページ・箇所の明示を行うこと。なお、説明に使用した資料は、名称及び添付資料番号を明記し、巻末の添付資料一覧に整理すること。</p>	モニタリングパラメータ	モニタリングパターン	選択の理由	活動量	<input type="checkbox"/> 森林 GIS <input checked="" type="checkbox"/> 実測		拡大係数	<input type="checkbox"/> 実測 <input checked="" type="checkbox"/> 公表資料、学術論文等		収穫予想表	<input type="checkbox"/> システム収穫表 (LYCS 等)	文献名: 該当ページ: ~ ページ 徳島県 主要樹種林分簡易収穫表 高知県 高知県庁森林部林業課より 2009 年 10 月 20 日受領しました	<input checked="" type="checkbox"/> 文献・資料(行政機関の資料・学術論文等)
モニタリングパラメータ	モニタリングパターン	選択の理由													
活動量	<input type="checkbox"/> 森林 GIS <input checked="" type="checkbox"/> 実測														
拡大係数	<input type="checkbox"/> 実測 <input checked="" type="checkbox"/> 公表資料、学術論文等														
収穫予想表	<input type="checkbox"/> システム収穫表 (LYCS 等)	文献名: 該当ページ: ~ ページ 徳島県 主要樹種林分簡易収穫表 高知県 高知県庁森林部林業課より 2009 年 10 月 20 日受領しました													
	<input checked="" type="checkbox"/> 文献・資料(行政機関の資料・学術論文等)														
<p>C.4 プロジェクトが実施されなかった場合の状態(ベースラインシナリオ)</p>	<p>C.4.1 ベースラインシナリオ(BLS)の特定</p>	<p>(プロジェクトが実施されなかった場合の状態(ベースラインシナリオ)の説明)</p> <p>森林を適切な状態に保つ為に必要な間伐・主伐・植栽が1990年度以降に実施されていない状況。</p> <p>(ベースラインシナリオ特定に使用したデータの信頼性・入手可能性)</p> <table border="1" data-bbox="549 1688 1401 1890"> <thead> <tr> <th data-bbox="549 1688 743 1787">データの信頼性・入手可能性</th> <th data-bbox="743 1688 1401 1787">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="549 1787 743 1841"> <input type="checkbox"/> 低い </td> <td data-bbox="743 1787 1401 1841"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="549 1841 743 1890"> <input checked="" type="checkbox"/> 低くない </td> <td data-bbox="743 1841 1401 1890"></td> </tr> </tbody> </table>	データの信頼性・入手可能性	説明	<input type="checkbox"/> 低い		<input checked="" type="checkbox"/> 低くない								
データの信頼性・入手可能性	説明														
<input type="checkbox"/> 低い															
<input checked="" type="checkbox"/> 低くない															

	<p>(森林施業計画通りに施業を実施しない可能性に関する情報)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">施業計画通りに実施しない可能性</th> <th style="width: 50%;">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/> 可能性がある</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 可能性がない</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(プロジェクトの対象である森林が転用される可能性に関する情報)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">転用の可能性</th> <th style="width: 50%;">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/> 可能性がある</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 可能性がない</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施業計画通りに実施しない可能性	説明	<input type="checkbox"/> 可能性がある		<input checked="" type="checkbox"/> 可能性がない		転用の可能性	説明	<input type="checkbox"/> 可能性がある		<input checked="" type="checkbox"/> 可能性がない	
	施業計画通りに実施しない可能性	説明											
<input type="checkbox"/> 可能性がある													
<input checked="" type="checkbox"/> 可能性がない													
転用の可能性	説明												
<input type="checkbox"/> 可能性がある													
<input checked="" type="checkbox"/> 可能性がない													
<p>C.4.2BLS に 関連した温室効果ガス 排出源・吸収源の特定</p>	<p>(温室効果ガス排出源・吸収源)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">温室効果ガス排出源・吸収源</th> <th style="width: 40%;">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>森林プロジェクトで対象となる排出源・吸収源</td> <td>地上部バイオマス、地下部バイオマス</td> </tr> <tr> <td>上記に含まれないプロジェクト固有の排出源・吸収源</td> <td>該当無し</td> </tr> </tbody> </table> <p>リーケージに関しては、以下のリストから該当するものがあればボックスにチェックを入れること。また、チェックしたリーケージは、モニタリングプランにおいて定量化すること。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">リーケージの種類</th> <th style="width: 50%;">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/> 本プロジェクト実施による、プロジェクト対象地外での吸収量を減少させる活動の増加</td> <td>プロジェクト対象地外での、吸収量を減少させる活動に関しては隣接地所有者、森林組合から情報は現在存しません。</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 本プロジェクト実施による、プロジェクト対象地外における排出量を増加させる活動の増加</td> <td>プロジェクト対象地外での、吸収量を増加させる活動に関しては隣接地所有者、森林組合から情報は現在存しません。</td> </tr> </tbody> </table>	温室効果ガス排出源・吸収源	説明	森林プロジェクトで対象となる排出源・吸収源	地上部バイオマス、地下部バイオマス	上記に含まれないプロジェクト固有の排出源・吸収源	該当無し	リーケージの種類	説明	<input type="checkbox"/> 本プロジェクト実施による、プロジェクト対象地外での吸収量を減少させる活動の増加	プロジェクト対象地外での、吸収量を減少させる活動に関しては隣接地所有者、森林組合から情報は現在存しません。	<input type="checkbox"/> 本プロジェクト実施による、プロジェクト対象地外における排出量を増加させる活動の増加	プロジェクト対象地外での、吸収量を増加させる活動に関しては隣接地所有者、森林組合から情報は現在存しません。
温室効果ガス排出源・吸収源	説明												
森林プロジェクトで対象となる排出源・吸収源	地上部バイオマス、地下部バイオマス												
上記に含まれないプロジェクト固有の排出源・吸収源	該当無し												
リーケージの種類	説明												
<input type="checkbox"/> 本プロジェクト実施による、プロジェクト対象地外での吸収量を減少させる活動の増加	プロジェクト対象地外での、吸収量を減少させる活動に関しては隣接地所有者、森林組合から情報は現在存しません。												
<input type="checkbox"/> 本プロジェクト実施による、プロジェクト対象地外における排出量を増加させる活動の増加	プロジェクト対象地外での、吸収量を増加させる活動に関しては隣接地所有者、森林組合から情報は現在存しません。												

		<p>(温室効果ガス排出源・吸収源を特定するために使用した追加的な基準)</p> <table border="1" data-bbox="549 322 1396 517"> <thead> <tr> <th data-bbox="549 322 887 421">温室効果ガス排出源・吸収源 特定のための追加的な基準</th> <th data-bbox="887 322 1396 421">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="549 421 887 468"><input type="checkbox"/>使用</td> <td data-bbox="887 421 1396 468"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="549 468 887 517"><input checked="" type="checkbox"/>使用しない</td> <td data-bbox="887 468 1396 517"></td> </tr> </tbody> </table>	温室効果ガス排出源・吸収源 特定のための追加的な基準	説明	<input type="checkbox"/> 使用		<input checked="" type="checkbox"/> 使用しない	
温室効果ガス排出源・吸収源 特定のための追加的な基準	説明							
<input type="checkbox"/> 使用								
<input checked="" type="checkbox"/> 使用しない								
C.5 排出量・吸収量の定量化	C.5.1 不確かなデータの使用	<p>(吸収量の定量化における不確かなデータの使用)</p> <table border="1" data-bbox="549 714 1281 958"> <thead> <tr> <th data-bbox="549 714 804 813">不確かなデータの使用</th> <th data-bbox="804 714 1281 813">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="549 813 804 911"><input type="checkbox"/>使用する</td> <td data-bbox="804 813 1281 911">(不確かなデータを使用することによる吸収量の過大評価がないことを説明すること。)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="549 911 804 958"><input checked="" type="checkbox"/>使用しない</td> <td data-bbox="804 911 1281 958"></td> </tr> </tbody> </table>	不確かなデータの使用	説明	<input type="checkbox"/> 使用する	(不確かなデータを使用することによる吸収量の過大評価がないことを説明すること。)	<input checked="" type="checkbox"/> 使用しない	
不確かなデータの使用	説明							
<input type="checkbox"/> 使用する	(不確かなデータを使用することによる吸収量の過大評価がないことを説明すること。)							
<input checked="" type="checkbox"/> 使用しない								
C.6 モニタリングプロットの設置	C.5.2 モニタリング対象とならない排出源・吸収源	<p>(モニタリングプランを作成する上で、モニタリング報告対象とならないプロジェクト固有の排出源・吸収源が存在する)</p> <table border="1" data-bbox="549 1104 1396 1350"> <thead> <tr> <th data-bbox="549 1104 868 1249">モニタリング報告対象とならないプロジェクト固有の排出源・吸収源</th> <th data-bbox="868 1104 1396 1249">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="549 1249 868 1299"><input type="checkbox"/>存在する</td> <td data-bbox="868 1249 1396 1299"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="549 1299 868 1350"><input checked="" type="checkbox"/>存在しない</td> <td data-bbox="868 1299 1396 1350"></td> </tr> </tbody> </table> <p>(モニタリングプロットの設定方法に関する記述) 最大 30ha に取りまとめた山林の代表的な樹相で且つ地形的に傾斜の中腹に設定した。</p> <p>(モニタリングプロットに対応した資料の準備) 樹高の想定には、バーテックス樹高測定器を使用し、面積の総量にはコンパスを使用いたします。</p>	モニタリング報告対象とならないプロジェクト固有の排出源・吸収源	説明	<input type="checkbox"/> 存在する		<input checked="" type="checkbox"/> 存在しない	
モニタリング報告対象とならないプロジェクト固有の排出源・吸収源	説明							
<input type="checkbox"/> 存在する								
<input checked="" type="checkbox"/> 存在しない								

C.7 備考		
--------	--	--

※1: ポジティブリストの条件を全て満たすことを、証拠書類等をもとに説明する。説明にあたっては、証拠書類等の該当箇所が明確になるよう、対応ページ・箇所の明示を行うこと。なお、説明に使用した資料は、名称及び添付資料番号を明記し、巻末の添付資料一覧に整理すること。

D:その他

	<p>(想定される関連法令等については、別紙「オフセット・クレジット(J-VER)制度における手続きについて」の方法論ごとの記載を参照のこと)</p> <p>なお、ここに記載した法令等は、あくまでも想定される主な法令であり、他にも関連する法令等の有無について確認すること。</p>		
D.1 関連する許認可及び関連法令		該当しない	該当する
	1	森林・林業基本法	<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 第 9 条森林所有者としての責務 <input type="checkbox"/> その他(具体的に:)
	2	森林法	<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 第 5 条地域森林計画 <input checked="" type="checkbox"/> 第 11 条森林施業計画 <input type="checkbox"/> その他(具体的に:)
	3	森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法(間伐等促進法)	<input type="checkbox"/>
	4	種の保存法	<input type="checkbox"/>
	5	鳥獣保護法	<input type="checkbox"/>
	6	騒音規制法	<input type="checkbox"/>
	7	景観法	<input type="checkbox"/>
	8	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	<input type="checkbox"/>
	9	環境影響評価法	<input type="checkbox"/>
D.2 ステークホルダー(森林所有者、森林管理者、森林管理費用負担者等)のコメント	<p>【プロジェクト対象森林の所有者が、プロジェクト代表事業者等に含まれない場合】プロジェクト代表事業者等と森林所有者の間で持続性の担保について確認・合意したことの証拠 * プロジェクト対象森林について、所有者以外に権利を有する者(入会権者等)が存在する場合も、持続性担保について確認・合意したことの証拠が必要となる。</p> <p>【間伐促進型プロジェクトで、プロジェクト対象地に含まれない森林所有者がいる場合】間伐を実施しない森林所有者に対して、持続性を担保するために実施した説明会等を実施したことの証拠 * プロジェクト対象地に含まれない森林について、所有者以外に権利を有する者(入会権者等)が存在する場合も、持続性担保に必要な説明会等の証拠が必要となる。</p>		

D.3 その他特記事項	
-------------	--